土　地　改　良　事　業　計　画　概　要　書

農 村 地 域 防 災 減 災 事 業

那賀川･今津 地区

徳　島　県

土　地　改　良　事　業　計　画　概　要　書

目　　次

第１章　変更を必要とする理由 1
　第１節　変更に至った経緯と概要 1

第２章　計画変更の内容 1
　第１節　事業費の変更 1

第３章　目的 1
　第１節　目　的 1
　第２節　地　積 1

第４章　地域の所在及び現況 1
　第１節　所　在 1
　第２節　現　況 2
　（１）地　　形 2
　（２）気　　象 2
　（３）営農状況 3
　（４）水利状況 3

第５章　基本計画 4
　第１節　一般計画の概要 4
　（１）受 益 面 積 4
　（２）土地利用計画 4
　第２節　主要工事の概要 4
　第３節　環境との調和への配慮 4

第６章　工事又は管理の要領 4

第７章　換地計画の要領 4

第８章　費用の概算 5
　第１節　概算総事業費 5
　第２節　概算総事業費の負担内訳 5

第９章　効用 5
　第１節　効　　果 5

第１０章　他の事業との関係 5

第１１章　計画概要図 6

第１章　　変更を必要とする理由

第１節　　変更に至った経緯と概要

本事業は、農業用水の安定取水と水質保全を図るため、老朽化した基幹水利施設を改修するものである。

附帯工として、浄化池を3箇所整備する計画だったが、関連事業により浄化池が整備されたことを受け、再精査した結果、本事業において浄化池の整備の取りやめ、路線延長の見直し、附帯設備の更新を行うことで農業用水の安定取水を図る。

第２章　　計画変更の内容

第１節　　事業費の変更

事業費を次のとおり変更する。

（単位：百万円）

種　別	変更前	変更後	増　減
合　計	646	553	△93（26.9%）

第３章　　目的

第１節　　目的

（１）必要性

本地区は、徳島県南東部の阿南市、小松島市に位置し、那賀川を水源とする受益面積218.5haの農業地帯である。
本地区の基幹的な農業水利施設は国営那賀川北岸土地改良事業により整備されたが、都市化･混住化による生活雑排水の地区内水路への流入により農業用水の水質が悪化し、水稲栽培上の支障となっている。このため、本事業により基幹水利施設を改修し、農地への生活雑排水の流入を防ぎ、農業用水の安定取水と水質保全を図ることにより、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

（２）緊急性

本地区の基幹水利施設は老朽化が進んでおり、不同勾配による汚濁水の停滞等が原因で水質が悪化している。関連する国営区間の整備が進んでおり、本地区の進捗が事業効果の発現のために重要であることから、早期に整備を完了させる必要がある。

第２節　　地積

受益面積

内　　訳　　218.5ha

田　　212.9ha

畑　　5.6ha

第４章　　地域の所在及び現況

第１節　　所在

事　業　名	地　域
農村地域防災減災事業	徳島県阿南市、小松島市

第２節　　現況

（１）地形

事　業　名	地目	田						畑・その他								受益地標高	
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 10° ～15°	8° ～15° 8° ～15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最高 m	最低 m
農村地域防災減災事業	面積 (ha)	213	－	－	－	－	213	6	－	－	－	－	－	－	6	2	1
	比率 (%)	100	－	－	－	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100		

（２）気象

１　一般気象

観測所名	阿南観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備　考
観測期間	昭和32年～平成23年	3月　～　10月	11月　～　2月		
平均気温（℃）		20.5℃	8.6℃	16.5℃	徳島地方気象台（昭和52年～平成23年）
降水量	平均 (mm)	1,704	344	2,048mm	
	基準年 (mm)	1,588	99	1,687mm	昭和42年
降水日数	平均 (日)	73	19	92	
	基準年 (日)	83.0	13.0	96	昭和42年
根雪期間		－			
無霜期間		3月19日 ～ 12月9日　266日間			徳島地方気象台（昭和56年～平成22年）
最多風向		WNW	最大風速	m/s 35.8	徳島地方気象台　（昭和36年～平成23年） 最多風向発生時期　9月～3月 最大風速発生年月日　昭和40年9月10日

２　特殊気象

観測所名 阿南観測所		第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 昭和32年～平成24年		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量	(mm)	347	H 9. 9. 7	1/80	343	H12. 9.11	1/72	292	S51. 9. 8	1/20	275	S41. 8.15	1/13	272	H10. 5.16	1/13	
最大時間雨量	(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大４時間雨量	(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量	(mm)	658	S40. 9.13 ～ S40. 9.17	1/103	564	S36. 6.24 ～ S36. 6.29	1/41	501	S51. 9. 8 ～ S51. 9.13	1/22	478	H12. 9. 8 ～ H12. 9.12	1/17	432	H 9. 9. 7 ～ H 9. 9.10	1/11	
最大連続干天日数	(日)	72	S48.11.10 ～ S49. 1.20	1/139	62	H17.11.12 ～ H18. 1.12	1/37	52	S44.12. 8 ～ S45. 1.28	1/11	51	S55.12.24 ～ S56. 2.12 H 4. 1.14 ～ H 4. 3. 4	1/10	50	H21.12.12 ～ H22. 1.30 H22.12.23 ～ H23. 2.10	1/9	

（3）営農状況

市　町　村　名	阿南市		小松島市				計	平　均	作付率	備　考
総耕地面積(ha)	4,450		1,500				5,950			
区　分 作　物　名	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	(%)	
水　稲	2,070	466	963	466			3,033	466	50.97%	中国四国農林水産統計データ集（令和4年）
大　豆	2	19	3	19			5	19	0.08%	
その他	2,378	－	534	－			2,912	－	48.95%	
計	4,450		1,500				5,950		100.0%	
市町村別 延作付率(%)	100.0%		100.0%							

（4）水利状況

現況の用水系統は、国営那賀川幹線水路からの分水を水源としている。

分水後は、開水路で流末の用水路へと細分化されていくが、一部は管水路形式（揚水機による圧送）により配水されている。

路線沿いの生活排水が水路に流入しており、降雨の少ないかんがい初期の水質が悪化している。

地区の幹線的な水利施設の構造は、コンクリート三面張りが多いが、いずれも老朽化が進んでおり、底版部の欠落・ひび割れ・摩耗等による漏水が生じている。

第５章　　基本計画

第１節　　一般計画の概要

（１）受益面積　　218.5ｈａ

（２）土地利用計画

事業名	土地利用別 / 市町村別	耕地 (ha)								山林 (ha)		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)		普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用地林	薪炭林					
		１毛作田	２毛作田以上													
農村地域防災減災事業	阿南市	－	156	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	160.0	
	小松島市	－	57	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	59.0	
	計	－	213	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	219.0	

第２節　　主要工事の概要

幹線水路　　L=2,480m

附帯工　　1.0式

取水堰　　1.0式

第３節　　環境との調和への配慮

・阿南市、小松島市が策定している田園環境整備マスタープラン等との整合を図りつつ、本地域の生態系及び景観に配慮する。

・幹線水路の改修にあたっては、工事の実施に伴う一時的な生物への影響を低減させるため生物の移動等を行う。

第６章　　工事又は管理の要領

当該事業により建設される施設については以下のとおり土地改良区が適正に管理する。

・幹線水路：那賀川土地改良区

・附帯工

取水堰(1.0式)：太田川土地改良区

第７章　　換地計画の要領

該当なし。

第８章　費用の概算

第１節　概算総事業費

当該施設の施工に要する費用は次のとおりである。ただし物価変動、事業実施の工事状況などにより変動する場合がある。

（単位：千円）

工事費	工雑・事務費	計
436,883	41,641	478,524

第２節　概算総事業費の負担内訳

（単位：千円）

	国	県	阿南市	農家	計
工　事　費	218,442	152,909	65,532	－	436,883
工雑・事務費	－	41,641	－	－	41,641
負担額合計	218,442	194,550	65,532	－	478,524

第９章　効用

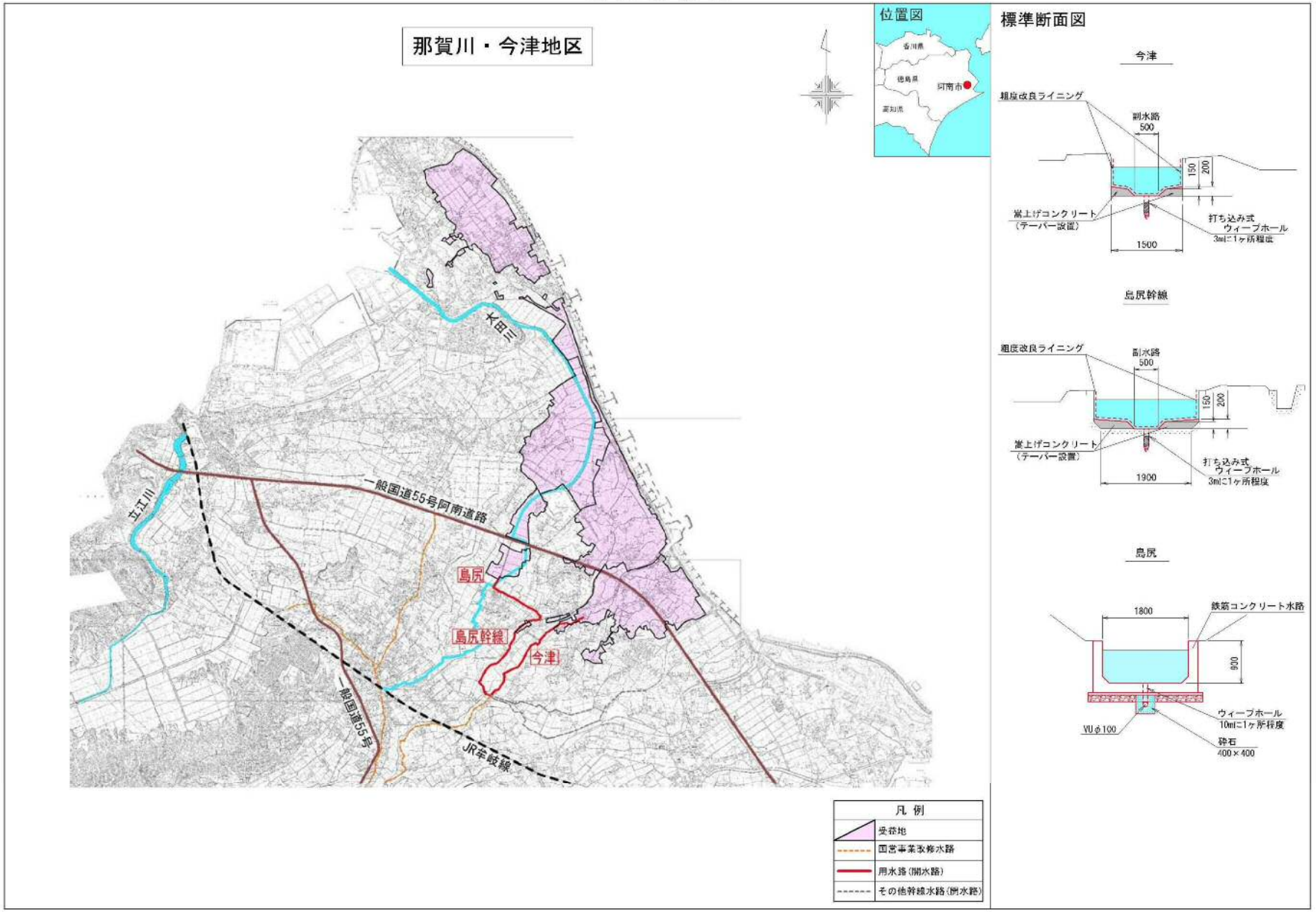
第１節　効果

区分 効果項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額
作物生産効果	546,700	35,125
営農経費節減効果	△ 52,108	0
維持管理費節減効果	△ 4,112	△ 1,343
災害防止効果	421,137	－
国産農産物安定供給効果	78,242	－
計	989,859	33,782
総便益額（現在価値化）	26,564,491	
総費用総便益比	2.26	
総所得償還率	－ %	
増加所得償還率	－ %	

第１０章　他の事業との関係

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容		
				工期	事業種目	事業量
国営	総合農地防災事業	国		H8～R5	用水施設	頭首工、用水路L=18km、水管理施設
	農業競争力強化基盤整備事業 （農地整備事業）	県	14	H5～H11	区画整理	区画整理A=14ha
	農業競争力強化基盤整備事業 （農地整備事業）	県	196	H6～H19	区画整理	区画整理A=196ha

地 区 概 要 図


那賀川・今津地区
位置図
香川県
徳島県
愛知県
阿南市
標準断面図
今津
粗度改良ライニング
副水路
500
150
200
嵩上げコンクリート
（テーパー設置）
打ち込み式
ウィープホール
3m に1ヶ所程度
1500
鳥尻幹線
粗度改良ライニング
副水路
500
150
200
嵩上げコンクリート
（テーパー設置）
打ち込み式
ウィープホール
3m に1ヶ所程度
1900
鳥尻
1800
鉄筋コンクリート水路
900
ウィープホール
10m に1ヶ所程度
VU φ100
砕石
400×400
大田口
立江川
一般国道55号阿南道路
鳥尻
鳥尻幹線
今津
一般国道55号
JR牟岐線
凡 例
受益地
国営事業改修水路
用水路（開水路）
その他幹線水路（開水路）